

衣笠だより増刊号①

令和4年 9月 8日
京都市立衣笠小学校
校長 畑 武巳
TEL: 075-462-0034
Fax: 075-462-0618
<http://cms.edu.city.kyoto.jp/weblog/index.php?id=101400>



「よく出来ている」と「大体出来ている」という
評価結果の項目を合わせて「達成している」
(出来ている)項目と考えています。

第1回 学校評価アンケートへの ご協力ありがとうございました。

夏休み前に行いました第1回の学校評価の結果についてご報告いたします。

今回は、Web上で回答していただきました。207家庭のうち、112のご家庭に回答をいただき、回収率は約55%でした。ご協力ありがとうございました。ただ、Web上での回答により、回収率が減っていることは課題です。一人でも多くの方に学校の取組を評価していただけるよう、改善していきたいと考えています。

今年度も感染拡大予防のため、様々な取組に制限がかかりますが、保護者の方の思いや願いを真摯に受け止め、学校と家庭、地域が同じ目線で子どもの確かな学力・豊かな心・健やかな体を育てていくことが重要だと考えます。

今後とも、衣笠小学校の学校運営にご支援・ご協力をいただきますようお願いいたします。

学校評価アンケート(1)の結果

低 学 年

	じつげんど			
	よくできている	だいたいできている	あまりできていない	できていない
たのしさがうきうきしている。	89.9%	8.1%	0.0%	0.0%
たのしがくしゅうし、べんきょうしたことがわかる。	61.3%	36.8%	1.9%	0.0%
クラスのなかでは、じしんがなくてもあしんして、じぶんのいけんをはっぴうできる。	56.6%	26.4%	15.1%	1.9%
とちゅうでなげださず、さいごまでがんばる。	67.0%	29.2%	3.8%	0.0%
ともだちと、やさしいきもちをもってなかよくできる。	83.0%	16.0%	1.0%	0.0%
じぶんからあいさつをしている。	67.9%	27.4%	3.8%	0.9%
がっこうやクラスのきまりをまもっている。	65.1%	34.0%	0.0%	0.9%
そとでげんきにあそんでいる。	60.4%	23.6%	12.2%	3.8%
まいにち、いえてべんきょうをしている。	67.0%	23.6%	8.5%	0.9%
じぶんからすすんでほみがきやてあらいをし、けんこうにきをつけている。	73.6%	19.8%	6.6%	0.0%

高 学 年

	実現度			
	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来ていない
楽しく学校生活を過ごしている。	62.5%	29.4%	8.1%	0.0%
めあてをもって、積極的に学習している。	30.9%	61.0%	8.1%	0.0%
クラスの中では、自信がなくても安心して、自分の意見を発表できる。	26.5%	38.3%	27.9%	7.3%
とちゅうで投げ出さず、最後までがんばる。	43.4%	46.4%	9.5%	0.7%
友だちのいいところを見つけ、やさしい気持ちをもってなかよくできる。	57.3%	39.7%	2.3%	0.7%
自分から元気にあいさつをしている。	59.5%	30.9%	8.8%	0.7%
学校やクラスのきまりを守っている。	49.3%	48.5%	2.2%	0.0%
外で元気に遊んでいる。	53.7%	18.4%	19.8%	8.1%
毎日、家で勉強をしている。	48.5%	36.0%	14.8%	0.7%
自分から進んでほみがきや手洗いをし、健康に気をつけている。	55.9%	39.0%	5.1%	0.0%

◆結果と改善策◆

<学習について>

低学年では、楽しく学習し、学習内容を理解していると回答した児童が98.1%、高学年では、めあてをもって積極的に学習し学習内容を理解していると回答している児童が91.9%と、非常に高い割合だったことをうれしく思います。この値は昨年度より上昇しています。また、途中で投げ出さず、最後までがんばっていると回答した割合は昨年度と比べ、低学年では30%近く上がっています。今年度も、感染予防のため、教育活動に様々な制限がありますが、アンケート結果からは、子どもたちが日々の学習の中での課題に対して、まじめに取り組み、成長しようとがんばっている前向きな姿が感じられました。

学校としては、今後も児童一人一人の様子をしっかりと見取り、学習形態や導入の工夫など、子どもたちが主体的に学習へ向かえるような支援をこれまで以上に強化していきたいと考えます。

「表現すること」については、昨年度と比べると、「よくできている」と回答した児童の割合がどちらも約10%上昇しています。2人組での対話やグループでの話し合いなどの機会が増えてきたことで、伝え合うことへの抵抗感も薄れ、自分の思いや意見を発表しようとする児童が増えたのではないかと思います。

発表するだけが伝える手段ではないですが、主体的に自分の思いや考えを伝えたいと思えるように、安心して伝え合える学級の雰囲気づくりや授業づくりを心がけていきます。

「家庭学習」については、9割前後の児童が「できている」と回答していますが、2年連続で少しずつですが実現度が下がってきています。特に、学年が上がるほど実現度が低くなっています。また、保護者の方も家庭学習や読書の習慣について不十分だと感じておられる方が多いです。

学年が上がるにつれて、放課後に習い事などをする児童も増え、家庭での学習時間が取りにくくなることも要因かと思えます。

引き続き、家庭学習への取り組み方や時間の有効な使い方などを全体に伝えるとともに、習慣化できていない子に対しては個別に丁寧に関わり、家庭と協力しながら支援していきたいと思えます。



学校評価アンケート(1)の結果

保護者

	実現度			
	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来ていない
楽しく学校生活をすごしている。	46.8%	50.5%	0.9%	1.8%
めあてをもって、積極的に学習している。	24.3%	61.3%	13.5%	0.9%
クラスの中では、自信がなくても安心して、自分の意見を発表できる。	23.4%	53.2%	20.7%	2.7%
途中で投げ出さず、最後までがんばる。	32.4%	54.1%	13.5%	0.0%
友だちのいいところを見つけ、やさしい気持ちをもってなかよくできる。	50.5%	47.7%	1.8%	0.0%
自分から元気にあいさつをしている。	27.9%	47.7%	22.6%	1.8%
学校やクラスのきまりを守っている。	48.6%	49.6%	1.8%	0.0%
外で元気に遊んでいる。	44.2%	39.6%	15.3%	0.9%
自分から進んで歯みがきや手洗いをし、健康に気をつけている。	33.3%	53.2%	11.7%	1.8%

おたよりやホームページなどで子どもの様子や学校の取組が伝わっている。	27.0%	61.3%	11.7%	0.0%
学校と家庭が子どものことを相談できている。	29.7%	58.6%	11.7%	0.0%
子どもが基本的な生活習慣を身につけている。	26.1%	67.6%	6.3%	0.0%
子どもが家庭学習や読書の習慣を身につけている。	23.4%	50.5%	22.5%	3.6%

<学校・家庭・地域について>

学校と家庭が子どものことを相談できているかについて、昨年度より実現度は向上しました。今年度は、少しずつ授業参観が実施できるようになり、学校でのお子たちの様子を知っていただく機会が増えました。また、初めて夏季休業前に個別相談会という形で、担任とお話していただける機会もつくりました。そういった機会が増えることで、学校と保護者との距離も近づき、些細なことでもお話がしやすくなるのかと思います。引き続き、保護者の方との連絡を密にとりながら、よいことはもちろん、子どもが困っていることや直していきたいことなどの情報も共有し、子ども達のよりよい成長を願って、共に歩んでいきたいと思っています。

また、毎週火曜日にはスクールカウンセラーが来校しています。お子さんのこと、子育てのことなど、お困りの場合は、いつでもご相談いただければと思います。

HP等での情報発信については、年々HPの閲覧数は増えてきていて、学校での子どもの様子に興味関心を示していただいていることをうれしく思っています。引き続き、学校での子どもたちのがんばる姿をHP等で発信し、ご家庭などで話題にさせていただくことで、家庭や地域とつながるきっかけにしていきたいと思っています。

教職員

	実現度			
	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来ていない
楽しく学校生活をすごしている。	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
めあてをもって、積極的に学習し、学習内容を理解している。	8.3%	83.4%	8.3%	0.0%
間違いを恐れず、自分のおもいを表現している。	0.0%	66.7%	25.0%	8.3%
課題を解決するため、粘り強く取り組んでいる。	25.0%	75.0%	0.0%	0.0%
お互いの良さを認め合い、思いやりの気持ちをもって行動している。	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%
自分から元気にあいさつをしている。	16.6%	66.7%	16.7%	0.0%
学校のきまりや社会のきまりを守っている。	16.7%	83.3%	0.0%	0.0%
外で元気に遊んでいる。	25.0%	58.3%	16.7%	0.0%
健康や安全に気をつけて生活している。	16.7%	83.3%	0.0%	0.0%

おたよりやホームページなどで子どもがのようすや学校の取組みが伝わっている。	0.0%	83.3%	16.7%	0.0%
学校と家庭が子どものことを相談できている。	33.3%	50.0%	16.7%	0.0%
子どもが基本的な生活習慣を身につけている。	8.3%	91.7%	0.0%	0.0%
子どもが家庭学習や読書の習慣を身につけている。	25.0%	66.7%	8.3%	0.0%

◆結果と改善策◆



<生活面について>

ほとんどの児童・保護者・教職員が楽しく学校生活を過ごしていると回答しています。楽しく学校生活が送れていると多くの方に感じていただけていることをうれしく思います。

しかし、楽しく過ごせていないと回答している児童や保護者がいるのも事実です。子どもたちが楽しく過ごせるように創意工夫しながら、一人一人が安心できる居場所をつくり、「明日も学校に行くのが楽しみだ」とすべての児童が思えるように、日々の教育活動を進めていきたいと思っています。

「あいさつ」については、ここ数年で少しずつですが実現度が上昇してきています。コミュニケーションの第一歩として、あいさつはとても大切なものだと思います。気持ちのよいあいさつは、互いに元気になれると思います。引き続き、身近にいる大人がお手本となり、自分からあいさつができる児童が増えてくれることを期待しています。

「思いやり」の気持ちについては、児童・保護者・教職員のほとんどの方ができていると回答しています。子どもたちの様子を見ていても、困っている子に声をかけたり、やさしく見守ったりしている姿がたくさん見られます。このことは、衣笠小学校のよき校風だと思います。

<健康・安全面について>

自分の健康に気を付けている児童が低学年・高学年ともに90%以上でした。コロナ禍において、一人一人が感染予防への意識をもって学校生活を送っていることがわかります。

ただ、少しずつ感染予防への意識の薄れは感じます。夏休み明けの感染状況を見ると、まだまだ油断できません。こまめな手洗いなど、自分のできる感染予防については引き続き、しっかりと心がけて、予防に努めていってほしいと思っています。

また、これから寒くなってくるとインフルエンザの流行も懸念されます。保健だより等でも、引き続き、健康管理の大切さについて伝えていきます。ご家庭でも、お便りを一緒に見ながらお話していただければと思います。健康第一です。みんなで気をつけていきましょう。